



毎月十五日発行
所 行 社 会
宗 像 大 社 会
〒811-85 福岡県宗像郡玄海町
電話 0940-62-1311代
定価 一年送料共 1000円

神具 装束
結婚式場用品
九州店
本社
福岡市博多区東公園二丁目一八八二番
電話(四)九三六五二六(六)五〇〇〇
京都下京区小倉大北入一四六番
電話(三)三四三三三三(四)四番
電話部(三)三四三三三三(四)番

以下全神職はしづかに斎場へ参進する、照り輝く夏日の中に浄衣の白と影の黒が美しいコントラストをなした、薄くしぐれと浅香の音が妙なるハモニニーをかき立てる。大被の奏上、切麻被、人形被を終り被物は流された、真新しい茅の輪を、先導神職のあと華津宮司以下全員で滑り新しい心で今年の後半期を迎える為に神門を左に廻りてみる。みなつきの夏越の被ひする人は、千歳の命延ぶというなり。右に廻りて思うこと皆つきねとて麻の葉を、切りに切りても抜けるかな。宮川の清き流れにみそぎさらばに左に廻りてせは、折られること叶はぬはなしと古歌を唱和しながら、大茅の輪を三度滑り罪穢を抜除けたのである。引続き、拜殿にて夏越の祭典が行われた。今清めた秋の稔りに感謝しつつこの六十年を過ごしたいと念じつつ帰路につく人々の影が夕祭の光の中に一段と美しく見えた。

昭和六十年

大被式・夏越祭斎行

白雲や茅の輪くぐりし人の上 乙二



七月三十一日、午後の真夏日まだ強き五時、恒例の大被式、大被式が多数の崇敬者参列のもとに斎行された。斎場の神門には真新しい茅の輪が取りつけられ、中央に人形が納められた。左右に神職、巫女、一般参列者が長い列をなした。この「大被」の儀式は、古代より連綿と続けられて

由來によるもので千数百年の歴史と伝統に基づく儀式である。ちなみに「大被」の名称を古典に見ると、仲哀天皇崩御の時「国の大奴佐を取り、種々の罪を集めて國の大被を行ひ、神の教を請われ」……と言ふ文章が古事記に現れたのが初めと言われる。

この「國の大奴佐」とは國家からの被物であり、「國の大被」とは國家全体を清める被いを意味していると思われる、又一年を二期

に分け、陰曆の六月と十二月の晦日に行う慣しであったが、今日宗像大社では陽曆の七月、十二月の晦日に執り行っている。神門に飾られた大茅の輪は地元総代、協力会の人々の奉仕により一日がかりで作られたものである。午前七時より当社近くの多礼部落から二トトラック一台の茅草が刈り取られ、選別、裁断され、直径二十センチの束にされさらにこの束を直径約三メートルの大茅輪として神門に取りつけられた。茅の輪奉製の作業が終了した。定刻の午後五時にはこの茅の輪前に全国から寄せられた紅白の人形約五万五千人、被物、切麻等が供えられ準備は整った。斎庭玄関に列立した宮司

明年度から小学校で使われる新教科書の検定が終了、文部省は七月一日、その検定結果の一部を公表した。それによると社会科教科書では特に、中韓両国との間の外交問題にまで発展した昭和五十七年の教科書騒動の結果追加された検定基準によって、「侵略」の語がすべての教科書で用いられるようになったという。

使用されている歴史教科書に関して、旧軍人ら七氏が国を相手と捉え、現に裁判中である。その提訴内容の一点は、「侵略」の語がたゞ自虐的のみ用いられいるのは甚だ不公正であり、教育上不当だといふのだが、それが更に低年齢の小学生用の教科書でも例外なしに用いられるようになった。これはもちろん放置されてよいことではない。

盟に訴えたといふのは、もちろん中国の主張を述べているのだが、特に問題はない。しかし新教科書の「中国へのしん略」といふ見出しは、教科書自身が自国日本の行為を「侵略」と認めている。その大きな違いを見誤ってはなるまい。

実は、「侵略」の語を使つてはいないが支那事案について新教科書は、「満洲事案のころから軍備を強化していき

書で本欄でも指摘したことが、中曾根首相は国会で満洲事案以後十五年間の日本の戦争行為への評価に関し質問されていることを謙遜に受容し、その国際的な判定に従うと答えた(昭58・3月)。あるいは文部省も、そのように見えない。国際判定に服従の姿勢で教科書を検定しているのかも知れない。

小学教科書も「侵略」一色に

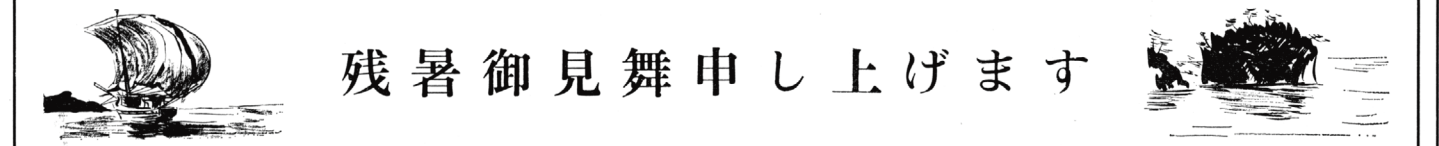
文部省の説明によれば、現在小学校の社会科(六年)の中国関係で「侵略」の語を使用している教科書は六社二社で、それも「中国は、日本の侵略である」として国際連盟にうたえまし

た日本は、宣戦の布告もしないで大軍を中国に送り、首都南京をはじめ主要都市を次々にせん領しました」と述べ

た日本は、宣戦の布告もしないで大軍を中国に送り、首都南京をはじめ主要都市を次々にせん領しました」と述べ

た日本は、宣戦の布告もしないで大軍を中国に送り、首都南京をはじめ主要都市を次々にせん領しました」と述べ

た日本は、宣戦の布告もしないで大軍を中国に送り、首都南京をはじめ主要都市を次々にせん領しました」と述べ



残暑御見舞申し上げます

技術と信頼で明日を創る

株式会社 旭電設社

代表取締役 藤澤 弘 佳

〒812 福岡市博多区博多駅東2丁目9番13号

電話(代表) 092-441-5928

株式会社 松延商事

代表取締役社長 松延 慶治

八女市大字高塚705

TEL 09432-4-2155

三十周年

中津宮七夕揮毫会



親子の絆を深める絶好の機会を提供しているのではないかと感じられた。尚表彰者は次の通り

- 【福岡県知事賞】 竹本亜希子(赤間小6) 栗崎素子(自由ヶ丘中3)
- 【福岡県議会議長賞】 川手崇史(赤間西小4) 神谷典子(城山中2)
- 【福岡県教育委員会賞】 中村ゆか(光丘幼) 生津美代子(春日南中1)
- 【宗像大社司賞】 中村貴子(福岡中3) 城野和子(福岡中5)
- 【宗像市長賞】 吉村裕美(新宮小3) 立部裕之(玄海中2)
- 【宗像郡町村長会賞】 永島理恵(勝浦小1) 石田理恵(城山中1)
- 【宗像郡議会議長賞】 森 克利(新宮小2) 麻生 忠(中央中3)

大島村鎮座中津宮七夕揮毫会は、昭和三十一年に始められて以来、今年で第三十回を迎えた。 七夕揮毫会は、中津宮境内にお祀りされている末生産牛・織女社の社伝に因み、毎年七月下旬に催される中津宮の大きな行事である。今年七月二十四日に行われ、当日は玄界灘に暑い日射しが照り返す中、三百五十名の参加者、及び父兄多数が、フェリー「大島」「弁天丸」にそれぞれ乗った。二十五分間の短い船旅の後、揮毫会場の大島小・中学校に参集、午前九時に第一回目の揮毫が開始された。 当日は諸行事の合間を縫って、恒例の「ささえ取り」が行われ、海水着に着替え、はしゃぎ廻る子供達の楽しそうな姿を見るにつけ、この様な機会でもなければ、こんな多勢の人達が一度に渡島する事もないであろうし、揮毫会が親子で大島を訪す

【福岡県知事賞】 竹本亜希子(赤間小6) 栗崎素子(自由ヶ丘中3) 【福岡県議会議長賞】 川手崇史(赤間西小4) 神谷典子(城山中2) 【福岡県教育委員会賞】 中村ゆか(光丘幼) 生津美代子(春日南中1) 【宗像大社司賞】 中村貴子(福岡中3) 城野和子(福岡中5) 【宗像市長賞】 吉村裕美(新宮小3) 立部裕之(玄海中2) 【宗像郡町村長会賞】 永島理恵(勝浦小1) 石田理恵(城山中1) 【宗像郡議会議長賞】 森 克利(新宮小2) 麻生 忠(中央中3) 【大島村長賞】 吉田貴美子(二日市東小6) 園田晃子(城山中2) 【大島村教育委員会賞】 矢幡大介(赤間西小4) 吉田真紀(城山中1) 【書道会賞】 中野美佐(玄海小2) 花田美香(河東小6) 真田弘美(赤間小4) 重住真貴子(日里東小3) 井原優子(福岡小3) 磯部真治(玄海小3) 松島志穂(東郷小5) 岡田 寛(津屋崎小1) 浅川真紀(福岡中1)

- 【フクニチ新聞社賞】 永島妙子(勝浦小5) 矢幡弘之(赤間西小3) 木田かおり(南郷小2) きょうこ(レバノン幼) 中野正和(玄海小6) 山本まり子(赤間西小4) 上田美保(津屋崎小4) 吉田容子(東郷小4) 高田暢子(津屋崎中1) 【ヒロカネ賞】 田中ふみえ(岡垣第一幼) 木田せいじ(津屋崎小1) 小方きこ(赤間小2) 井浦美佳(赤間小2) 門司清香(赤間西小6) 稲垣布美(福岡南小3) 赤星浩一(玄海小6) 山本礼子(赤間西小3) 山崎智子(津屋崎小3) 平川百合(吉武小5) 下川部力(津屋崎小5) 竹本郁美(赤間小4) 佐藤優子(赤間小4) 高田佳奈(津屋崎小5) 松島隆史(東郷小4) 川手佳世(東郷小5) 小田千晶(神興東小6)

【御 札】 当大社恒例の夏越祭神事齋行に当りましては、宗像市・郡内氏子各位並びに全国崇敬者の皆様より、多数の天形をお寄せ戴き、お陰を以ちまして、祭典は天候にも恵まれ滞りなく、盛大裡に齋行致すことが出来ました。ここに誌上を以ちまして謹んで御礼申し上げます。 昭和六十年盛夏 宗像大社 宮司 葦津嘉之 崇敬者各位

第二八九回 宗像大社歌会詠草 毎月末日 中村 吾郎 選 日の里 清原 絹代 日すがるの雨に乾かぬ洗い物掛けたるままを部屋へ入るるも (評) 日常生活の中での些細な一瞬。構えなく淡々と歌いこまれたその内容に作者の真実が見えてくる。 自由ヶ丘 後藤君代 長雨のやうやく止みし夕ぐれに土にまみれし夏菊おこす (評) 「土にまみれし」より挑発された心が結句の行動に繋がる。「やうやく」は工夫欲しい。 戸畑 田中ハツセ この街に四十年を住み馴れて嬢の如くに吾は生きてゐる (評) 或る時のふとした感慨。四十年の歴史が「嬢の如くに」に刻みこまれた。結句の字余りも納得する。 原町 中村 幸 庭先の石に腰掛け爪を切る 梅雨の晴間を山鳩は鳴く 武 丸 立石ろせ乃 玄関に鍵せむと来て仰き見る 梅の梢に月あり 東郷 藤崎 辰子 梅雨晴のひと日惜しみて夜具を干すブロック塀にも屋根のうへにも 津 丸 古賀 文月 鉄線の蔓からみあい葉と白とまぎりてそこ此処に咲く 池田 永富 鎌 鷺一つ越れば流の音近く 声の透りて小枝の啼く 東福岡 山本 夏枝 歩道橋下りゆく向ふ土手の草片なびきかつかよひやます 香椎 桜井 ツ子 蒲柳の体質と医師に言はれたり生きて七十七歳けふ健やかに 深田 中野 節子 おもおもと熟れて糶ふ麦畑の畦を天追ひて走る人あり

献米袋配布並に取纏め御札 昭和六十年度、宗像大社夏越大被式齋行にあたり、市・郡内氏子各位への献米袋配布並に取纏めにつまじは猛暑の中、御協賛を賜り厚く御礼申し上げます。 祭典は例年にもまして盛大厳肅に齋行致すことが出来ました。 茲に謹んで紙面を以ち感謝の意を表します。 昭和六十年八月吉日 宗像大社 宮司 葦津嘉之 宗像大社氏子会 会長 山本三吾 氏子会評議員 各位

残暑御見舞申し上げます



みなとタクシー 株式会社 代表取締役 古野 浩 宗像営業所 宗像市土穴三九八―一三三 TEL〇九四〇一三三―一三三 玄海営業所 宗像郡玄海町神湊・鐘崎 TEL〇九四〇一六二―一三三 事務所 宗像郡玄海町 宗像大社前 TEL〇九四〇一六二―一〇〇一

新星交通有限会社 代表 森 義久 宗像市 大字 東郷 東郷営業所 〇九四〇一三六二―一三三 赤間営業所 〇九四〇一三二一―三〇三八 神湊営業所 〇九四〇一六二―一〇〇一

宗像西鉄タクシー 株式会社 代表取締役 中村 直弘 支配人 熊谷 実 宗像市自由ヶ丘二一七―三 TEL 〇九四〇一三二一―四一三

宗像グリーンタクシー 有限会社 代表取締役 山根 公雄 専務取締役 藤瀬 将俊 宗像市大字河東一―二二二 TEL 〇九四〇一三三―三〇三

宗像に国立博物館を

地元市町村 誘致運動を展開へ 長会が決定

九州には国立博物館がないこと、以前より福岡県に国立博物館を、誘致運動が展開されてきたが、宗像郡・市町村長会に於て、宗像でも国立博物館の誘致運動に積極的取組んでいくことを申し合せたことが、五月十一日付の西日本新聞にて報道された。

今後どのような運動が展開されるかはわからないが、「歴史と伝統の里、宗像」であるだけに、大いに興味のあるところである。ここに、西日本新聞の記事を掲載し、これから先の運動に注目したい。

(五月十一日付西日本新聞) 島村)をはじめ貴重な遺跡など歴史遺産が多い福岡、北九州両百万都市の中間に位置し交通の便が良いなどの理由で誘致に名乗りを上げた。早急に誘致期成会発足や事務局設置にあたり、建設推進九州会議や、建設推進九州会議や、国へ働きかける意向だ。建設用地の候補地も数ヶ所検討している。

国立博物館は、東京、千葉、京都、大阪、奈良など五館があるが、大陸文化の門戸となった九州には、四十三年に福岡県を核とする誘致期成会が結成され、太宰府天満宮が県に寄附した十七万平方メートルの土地を、太宰府市も太宰府文化団体を結集した博物館等建設推進会議が結成され、文部省などに働きかけている。

博物館等建設推進九州会議は場所を特定せず、九州に国立博物館が必要であることを訴えているが、福岡県は太宰府設置を求めている。太宰府市も太宰府文化団体を結集した博物館等建設推進会議が結成され、文部省などに働きかけている。

九州には国立博物館がないこと、以前より福岡県に国立博物館を、誘致運動が展開されてきたが、宗像郡・市町村長会に於て、宗像でも国立博物館の誘致運動に積極的取組んでいくことを申し合せたことが、五月十一日付の西日本新聞にて報道された。

今後どのような運動が展開されるかはわからないが、「歴史と伝統の里、宗像」であるだけに、大いに興味のあるところである。ここに、西日本新聞の記事を掲載し、これから先の運動に注目したい。

五回に亘って、アンデス音楽の花形楽器「ケーナ」を考えて見ましたが、今回からケーナと同様、南米民族音楽には欠かせない楽器「シーク」を紹介してみたいと思います。

「シーク」はスペイン語で「サンポニーヤ」と云います。シークを奏する人をシークリと呼び、ペルー、チリ、アルゼンチン、ブラジル、ボリビアにひろがる大湖、チリカカ湖周辺を中心としたアンデス地方のパンパイアです。

長さの異なるカーニヤ(南米薯)を、音の高さの順に六本管、七本管と一列に束ねて一組とし、お互いに欠けた音を補うようになっています。

シークはペルーよりも、ボリビア地方で多く用いられます。太鼓や、時にはトライクを集めて合奏し、一種

「インカの響き」
南米の音楽に魅せられて (6)

アンゲルを伴った合奏がさかんに行なわれている様です。

アイマラ族はシークを次の様に呼んでいます。

タイカ(母なるもの) — 最も長い管が約六十七センチ。

マルタ(中ぐらいのもの) — 同約四十五センチ

リク(三番目のもの) — 同約三十七センチ

ユリ(小さなもの) — 同約十五センチ

当然、大型のものは低音用、小型のものは高音用のシークです。

インディオ達はこれらシークを集めて合奏し、一種



組合わせれば、はじめて満足な音階が吹けるようになります。これらつがいのシークは、一人が重ねて持って演奏する場合もあります。二人が作業ずつ別けていたと云われていました。

音楽情報誌「ラティーナ」三月号参照 (神島記)

宗像郷土館を宗像市に建設、戦前の博物館運動のモデルといわれたが、戦後、収束品は散逸、鉄筋神祇造りの同館も屋根は落ち、またたると同様に倒壊のままだとされている。

(七月二十五日付西日本新聞)

「国立博物館を宗像に」
青年会議所 誘致運動に協力

「国立博物館を宗像地区」と福岡県の宗像市町村長が取り組むことにしている。具体的活動については、市町村長会側の意向を聞いて九月以降に検討していく。

宗像市では昭和十二年、青年団や婦人会などが全国的募金を呼びかけ、考古、歴史資料を中心とする

度宗社会協会 鎌倉市鶴ヶ岡八幡宮職員四名参拝

七月二十三日 東京都玉川神社宮司宮澤氏外三名参拝・二十四日沖津宮参拝

七月二十四日 第三十回中津宮七夕揮毫会

RKB毎日放送報道部 沖ノ島取材

七月二十五日 大牟田市歴史資料館今里氏外二名参拝

七月二十六日 福岡県環境衛生管理課七名、野鳥の会一名沖ノ島渡鳥

太宰府天満宮松永氏、国学院大学実習生五名参拝

七月二十七日 神社本庁調査部井澤氏外二名参拝

出光興産株式会社 栗城課長参拝

東京都倉田道氏外十名参拝

七月二十八日 神道天行居五十名参拝・内二十七名沖津宮参拝

三〇名参拝 長外一員兼運送員兼社務参拝

福岡市福民公民館三十名参拝 神室館参拝

八幡宗像会参拝

七月二十九日 香椎税務署署員二十名参拝

七月三十一日 大坂式・夏越祭参拝

地元総代、協力会々員二十名参拝 備前奉仕

出光タンカー船社長 長野氏外四名参拝

社務日誌抄

七月一日 月次参拝行

芦屋航空自衛隊六名参拝

三井建設グループ田中支店長外六名参拝

七月二日 和田玄海町々長 小山県議会議長参拝

埼玉県立博物館学芸員 鈴木・井上両氏参拝

七月七日 田川市若八幡神社 社務部九名参拝

七月十四日 第六回宗像少年の翼一行一〇名参拝

昭和六十年年度宗像大社 祭典行事会開催

七月十五日 月次祭 祇園祭参拝

宗像警察署柔剣道部二十名参拝

七月十六日 西鉄赤間営業所々長吉武恒木氏、前所長中尾和毅氏外二名参拝

七月十七日 出光興産出光計助相談役外六名参拝

七月十八日 福岡東住吉公民館老人会七十名参拝

七月十九日 宗像地区芸能振興会評議員会

七月二十日 宮地嶽神社・当大社親睦会

滋賀県竹生島神社祭典参拝

生嶋藤雄氏外三名参拝

七月二十一日 沖・中西宮参拝

出光興産福友会六十名境内清掃奉仕

七月二十二日 昭和六十年

宗像青年会議所(堤宏理事長、八十七人)も二十四日、賛同の立場から同運動に参加することを明らかにした。八月十日に予定されている定例市町村長会議で、運動への協力を申し入れる。

同青年会議所は同運動に参加する理由として「ベッドタウン地区で新旧住民が融和し、郷土を再認識するために役立つ」としている。具体的な活動については、市町村長会側の意向を聞いて九月以降に検討していく。

第十四回宗像大社献詠短歌大会を左記要項にて開催致しますので御案内申し上げます。

期日 昭和六十年十一月十日、午前十時開始

会場 宗像大社清明殿

主催 宗像大社歌会

後援 毎日新聞社

※募集要項

〆期日 昭和六十年九月五日消印有効

詠草 一人一首、未発表の作品厳守。原稿用紙に楷書で明記(住所氏名を付記の事)

講演 講師 山田輝彦先生

午前十時三十分〜十一時三十分

選者 久原善衛門 持田勝 穂 中西輝磨 中村吉郎 加野晴郎の各先生

にお願ひしております

会費 七百円、他に七十円切手貼付の封筒一枚

(住所、氏名記入)同封のこと

(献詠送付の折定額の小額替又は切手にて納入下さい。後日詠草集を送ります。)

賞 選者賞四名、互選賞八名、佳作十名(但し当日出席者に限りませ)

送付先 〇八一—三三五 福岡県宗像郡玄海町田島 宗像大社社務所内 献詠短歌大会係宛



残暑御見舞申し上げます

宗像平和タクシー 株式会社

代表取締役 塩川弘昭

宗像郡福岡町二七二八—一三

TEL 〇九四—四二一〇〇四〇

福栄タクシー 有限会社

代表取締役 保井久

副社長 保井享

宗像郡福岡町二六三三—一八

TEL 〇九四—四二一〇三三三

美松タクシー 有限会社

代表取締役 塩川弘昭

宗像郡津屋崎町新川端

TEL 〇九四—五二一〇〇一五

大和印刷所 有限会社

代表的場重徳

宗像市大字田熊

TEL 〇九四—三六一二〇二七

宗像大社歌会 俳句作品集(三)

津屋崎 西住喜三郎
前の木に啼く何鳥ぞ朝涼し

田熊 安部 ゆき
汗ばみて縫糸もつれ老の針

福岡中央 力丸玄風
更けて舞ふ螢火更に高きか

福岡 二宮 木子
夕風にゆれるボートの影長

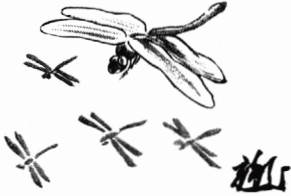
香椎 板矢クニコ
花しょうぶ活ける心のはのぼ

福岡 広渡一寿軒
一ときを削げけとなりて見る
る金魚

藤沢 井上 玄洋
高々と驚振る柳宜の山開き

大井 吉田 杏子
蛋が家の軒の低さや海つば

田熊 力丸 一郎
早苗田に流れ行く雲風にの



(続)

浜の寄物

1

いしいただし



今回から再 臣、古部安安によって築
び寄物につい 城、幕末から明治初年にか
て記してみた けて戸数二十戸あった。宝
いと思う。 勝島での 暦初年(一七五二)には高
橋万右衛門によって波止場
も築き直された。
今年七月二 船外機で五分ほどで着
二日、玄海町 四ヶ所に上陸してあり
神淡の「魚屋 が、この浜にも人が寄
の、吉武亥 つかないが、漂着物は多
之助氏、謙一 くの三入で勝 島へ渡った。
氏の三人で勝 神淡の先端、
草崎から一番 草崎から一番
近いところで うに見られるが、荒されて
ないというのが新鮮に感
じられた。満潮線に帯状に
なっていた。漂着物がある。ハマ
ユウの群落、崖面には山百
合が花を咲かせていた。
私はここでココヤシとニ

古代史探訪 (10)

宗像族の墓域を追う

津屋崎地区の海岸線一帯

古代この地を統治してい た地方豪族は、宗像族と呼 ばれている。この一族が呼 ばれている墓域は、津屋崎 地方の海岸線一帯に連なる 古墳群を指している。ここ う呼ばれてきている。ここ には約川河口の神淡から、 勝浦・津屋崎へと、南北八 キロに渡って帯状に長く伸 びる約二〇〇基からなる古 墳を数えることが出来る。 海岸線に平行して、名見山 (一六五米)・対馬見山 (二四七米)・在自山(二三 七米)・宮地山(一八〇 米)と低く連なる山陵が走 り、山頂からは一望のもと に海洋を見下ろしている。 この地区の古墳は、山の麓

の台地の上に全て築造され 八割強が、この津屋崎地方 ために区域全体が村落を成 している感がある。
古墳の規模はそれほど大 きくない。ほとんどが未調 査のままのためには、こ には約川河口の神淡から、 勝浦・津屋崎へと、南北八 キロに渡って帯状に長く伸 びる約二〇〇基からなる古 墳を数えることが出来る。 海岸線に平行して、名見山 (一六五米)・対馬見山 (二四七米)・在自山(二三 七米)・宮地山(一八〇 米)と低く連なる山陵が走 り、山頂からは一望のもと に海洋を見下ろしている。 この地区の古墳は、山の麓



時代頃の波打際であった。こはま へと続いた。これはま ちがも古く、当時の海岸線 に沿って古墳群が形成され たと言え、また古代宗像 族が、女界灘に対しての海 洋上の拠点であった所を基 括範囲を拡げながら、対外 交易を中心として、この地 に居住していったことを推定 する根拠ともなり、この地 は次号より述べていく。

ツパヤシを見つけた。それ を見ながら、昨年、ファイ リンへ渡ったことを思い出 していた。
昨年の八月二〇日から一 〇日間、ファイリンへ渡っ た。貝類の交換と採集とい うこと、貝類学会の二 人と添乗員の僅か四人、三 人はファイリン十数回と いうベテラン。その点では 気楽ではあったが、私は 貝類はどうでもよかった。
方果実・種子類をこの目で 見、果実も腹パイ食べて みたいという目的があっ た。
ファイリンは面積三〇万 平方キロ、人口約四七〇 万、七〇八一の島からなる 。主な島は、ルソン島、 ミンダオ島、以下サマ ル、ネグロス、パラワン、 ボネール、ミンドロ、セブ、 パナイ、レイテ、人の住 む島は八八〇島だけ。東南 アジアでは日本が一番近い 国であり、あらゆる意味で つながりも深い。
主な産業は農業。農業活動 人口は六〇%。
生産物ではココヤシのコ プラは世界第一、他にマニ ラ麻、タバコ、さとうきび 等がある。
スペインの植民地支配、 アメリカ統治時代、太平洋 戦争による日本占領、一九 四六年七月四日、ファイリ ン共和国として独立をし た。
しかし山がちな多島、種 族、宗教等も複雑で、現マ ルコス政権の独裁的政治等 がからみ政治は絶えず不安 定で揺れ動いている。今も ホ島に日本人が誘拐され たまま半年間が経過してい る。
成田からマニラまで三時 間十分程度、マニラからミ ンダオ島サンボアンガ行 きが一日一便。
ファイリン第二の島ミン ダオ島はカニに譬えられ ている。「長く伸ばした爪 の先端がサンボアンガ、爪 の根もとにコタバトがあ る。爪はスルー諸島という 餌を求めているかのようだ 」「(鶴見良行・マンガロー プの沼地)。
マニラから一時間三〇 分、ファイリンは六月十月 は雨季である。全体に湿気 を含んだ濃緑色に沈んでい る、古い天然色写真という 感じであった。期待のファイ リン、黒潮の出発点、今迄私はこの国に、どれだけ の熱い思いを抱いたか。
「私は幾度もつぶやいて いた。機は降下態勢に入り 刻々と眼下に近づいていく 椰子の林に私は目を注いで いた。ガクンとショック、 機は着陸した。
空港での手続きをすま ず、荷物を受け取りに行く。 ピストル等の銃器の受け渡 しがあった。実弾を調 べ腰に差し込むのを見なが ら、「これはファイリンな のだ。」少し緊張した。以後 十日間、銃器を町のいたる ところで見かけ、この国の 政情・治安の悪さを感じた のである。」

残暑御見舞申し上げます



総合建設業
株式会社 弘江組

代表取締役 中野弘愛

事務所 福岡県宗像市大字稲元二〇三三

電話 〇九四 三二二五五六七
三二二三三九一八

総合結婚式場

のがみ会館

取締役社長 野上藤三郎

飯塚 飯塚市 新立岩 一三一三三
〇九四八八二一三三三四〇
宗像 宗像市 大字 土穴 四六六一
〇九四〇一三二二三五五
筑紫 筑紫市 大字 塔の原 九六九
〇九二一九三二二二二

宗像グリーンセンター
株式会社

代表取締役 瀧口潤一郎

福岡県宗像市大字稲元九〇五
TEL 〇九四一三三二二二七

ハナダ写真館

代表者 山下孝男

福岡県宗像市大字東郷一〇三二
TEL 〇九四一三三二二〇〇九